

今日5月9日は、大阪市の全ての学校で、「いじめについて考える日」になっています。

10年くらい前までは、何回か続けてするのが「いじめ」でしたが、今は自分のまわりの人からたたかれたり、嫌なことを言われたり、された人が嫌だと感じたら、たとえ一度だけであっても、それは「いじめ」ということになります。された人がどう思うかということが大切で、何かをされた人が「嫌だな」と感じたら、それは「いじめ」ということになります。

例えば、みんながよく使うドッジボール。釘がささったら、どうなりますか？穴があきますね。くぎをぬいたとしても、穴は残ったままとなります。その穴は元には戻りません。いじめはそれと、とてもよく似ています。身体的な暴力だけではありません。むしろ、言葉の暴力の方が傷つくことが多いかもしれません。悪口を言われて、まわりの誰かを傷つけたとします。あとで謝っても、言ってしまったことは取り返しがつきません。悪口を言ったり、汚い言葉を使ったりするのは気持ちの良いものではありません。皆さんにはぜひ、その言葉を言うと言われた相手がどう思うのかを考えて欲しいと思います。

2年前の5月に「テラスハウス」という番組内での出来事について

て、SNS でたくさんの人から悪口を書かれた女性が自殺をしました。当然、ゲームとは違うので、リセットボタンはありません。失われた命を元に戻すことはできません。

今は、誰でも気軽に SNS などに書き込むことができます。そして、顔が見えなかったり、誰が言ったかわからなかったりすることで、書かれた本人が、とても傷つくようなことを平気で書く人が増えています。

また、仲間内でのグループでも仲間外れをしたり、悪口を書いたりしてトラブルになることも増えてきています。こちらも同じで、一度書いてしまったものは、元には戻りません。たとえ、後で書いたことを取り消したとしても、悪口などを見てしまった人の心の傷を消すことはできません。

さまざまな場面で共通することですが、相手の立場に立って考えることが大切なので、みなさんにはぜひ、意識をして欲しいと思います。今日は、この朝会が終わってからも、クラスで担任の先生と一緒に「いじめ」について考える機会にしてくださいね。